

# 教育理念の実現に向けたナガセの教育ネットワークの取り組み

ナガセグループは「独立自尊の社会・世界に貢献する人財を育成する」という教育理念の実現に向けて、**未来のリーダーを輩出するために、通常の講義や受験指導に加えて、他にはない取り組みを実践しています。**

## トップリーダーと学ぶワークショップ

各界のトップリーダーによる講演会と、ワークショップがセットになった特別授業を2014年から開催。日本を牽引するトップリーダーの知見を学び、視野を広げることができる貴重な機会です。チームの意見をまとめて発表するワークショップを通じて、コミュニケーション力と発信力が鍛えられます。



参加する生徒は、日本を牽引するトップリーダーの講演を聞くだけでなく、自分たちはどう考え、何をやるのかを徹底的にグループで議論し、最後に発表という形で締めくくります。  
※2020年～2022年はオンライン実施

### 2023年にご登壇の先生方

＜所属・肩書はご登壇当時＞

- 1月 岩永 勝先生 国際農林水産業研究センター 顧問(前理事長)、  
国連・世界食糧農業機関 顧問、  
国際野菜研究センター 副理事長
- 3月 堀江 信彦先生 株式会社アミックス 代表取締役社長、  
株式会社しそ屋 代表取締役社長、  
株式会社熊本コアミックス 代表取締役会長
- 4月 今井 眞一郎先生 ワシントン大学(米国ミズーリ州・セントルイス)医学部  
発生生物学部門・医学部 教授、  
一般社団法人プロダクティブ・エイジング研究機構 代表理事

### 過去にご登壇された先生方(抜粋)

＜所属・肩書はご登壇当時＞

- 藤岡 一郎先生 元駐米大使、日米協会会長
- 箱井 崇史先生 早稲田大学法学部学術部長・法学部長
- 古賀 信行先生 野村ホールディングス株式会社 前会長 特別顧問、  
日本経済団体連合会 前副会長
- 山口 寿一先生 読売新聞グループ本社 代表取締役社長
- 此本 臣吾先生 株式会社野村総合研究所 代表取締役会長 兼 社長
- 大田 弘子先生 政策研究大学院大学 特別教授、  
元内閣府特命担当大臣(経済財政政策)
- 池谷 裕二先生 東京大学 薬学系研究科 教授
- 吉村 作治先生 東日本国際大学 総長、早稲田大学 名誉 教授、工学博士(早大)
- 金丸 泰文先生 フューチャー株式会社 会長兼社長、グループ CEO
- 福田 遼一先生 Hearsted 株式会社 代表取締役社長、慶應義塾大学医学部 教授
- 山根 謙一先生 総合地球環境学研究所 所長、前京都大学総長
- 柳 弘之先生 ヤマハ発動機 前会長 / 現顧問

## 未来発見講座

東進では小学生・中学生・高校生を対象に、夢や志を育む「未来発見講座」を開講しています。この講座では、各分野の最前線で活躍する研究者やリーダーの講義を通じて先進的な研究や新たな価値観、考えなどを知ることで、視野が広がり、自分の「将来」を考える大きなきっかけになります。ワクワクする未来を発見し、「何のために、どう生きるのか」という具体的な将来像が見えれば、勉強へのやる気も高まり、努力を継続する力になります。



藤松 努先生  
株式会社松電機 代表取締役

出雲 亮先生  
株式会社ユーグレナ 代表取締役社長

## 東進志作文コンクール

変化の大きい時代を逞しく生き抜くために、自らがどう生きていきたいかを考えることが大切です。東進はその考えを具体化して確固たるものにしてもらいたいという思いから「東進志作文コンクール」を実施。自分自身と向き合い、将来を考えるきっかけになります。



## 全国統一テスト(小・中・高)

小・中・高を通して学力を測るだけでなく、学力を伸ばす模試として、全国3,000会場以上でそれぞれ2回開催。全国の小学生、中学生、高校生30万人以上を無料招待しています。連続受験により、努力の成果がはっきりとわかるこのテストを受験することで、努力を続け、全国のライバルと互いに切磋琢磨し、成長することを期待しています。各テストでは、成績優秀者による決勝大会も行う。いわば学力の全国大会です。  
※2020年～2022年は新型コロナウイルスの感染予防を徹底のうえ実施。



高校生テスト

中学生テスト

小学生テスト

## アメリカ Ivy League 視察団 2023年 4年振り実施

全国統一小学生テストの決勝大会における、表彰制度の一環として、2008年からハーバード大学やコロンビア大学といったアメリカを代表する大学や、エリート養成校である10スクール(寄宿制の高等学校、名門ボーディングスクール)などを視察する「アメリカ Ivy League 視察団」を派遣。毎年小学4年生30名を無料招待しています。グローバルな目を養うと共に、同世代の仲間と積極的に意見を交わし切磋琢磨することにより、未来のリーダーへの一歩を踏み出すことを目的としています。  
※2020年～2022年は実施を見送りました。



コロンビア大学のアルマ・マター像と記念撮影

## 東進デジタルユニバーシティ

AIをはじめとする最先端のデジタル領域の技術や、それらの企業運営・ビジネス活用に関する教育を大学生・社会人に提供します。コンテンツの制作にあたっては、データサイエンス分野の国際的名門大学であるカリフォルニア大学バークレー校と日本初提携。シリコンバレーの心臓部とも言える大学の持つ最新テクノロジー研究事例・ビジネス展開事例と、東大現役合格実績日本一\*の東進が培ってきたオンライン学習のノウハウを凝縮した学習プログラムを構築しています。日々進化を続けるAI・デジタル技術を駆使してビジネスに新たな価値を創造する。本物の「デジタルリーダー人財」を育成します。



※2022年の東大現役合格実績をウェブサイト・パンフレット・チラシ等で公表している予備校の中で最大(UDnet調べ)。

## 高校教員向け「夏の教育セミナー」

日本教育新聞社と共に、高等学校の先生を対象としたセミナーを毎年開催しています。2022年夏は、9,000名を超える先生方から申込いただきました。高校の先生方が、「大学入学共通テスト」の結果や今後の動向を把握し、「新学習指導要領」へ対応するための最新情報をお届けします。文部科学省の担当者による講演やそれに対応した授業実践の分科会、全国の主要大学による大学案内や入試情報解説など盛りだくさんの内容です。



2019年は全国主要都市12会場で開催。約5,000名の高等学校の先生にご参加頂きました。



## 日本競泳女子史上初 大橋 悠依選手 (ナガセ社員 イトマン東進所属) 個人メドレー 400m・200m2冠達成

大橋悠依選手(ナガセ社員、イトマン東進所属)が2021年開催の東京五輪で日本競泳女子史上初の2冠を達成しました。イトマンスイミングスクール創業49年にして初となる偉業です。大橋選手は幾度も陥った体調不良を乗り越え、「努力は決して裏切らない」ことを伝えてくれました。

大橋 悠依 Yui Ohashi  
1995年生まれ。2017年の日本選手権で400m個人メドレーの日本新記録を樹立し、優勝。2018年には自身の日本記録を更新して2年連続優勝。さらに世界水泳2017の200m個人メドレーでは日本新記録で銀メダル。世界水泳2019は400m個人メドレー銅メダル。東京五輪では400m個人メドレーと200m個人メドレーの2冠を達成。2018年株式会社ナガセ入社。イトマン東進所属。200m・400m個人メドレーの日本記録保持者。

## 最先端の研究を行う若手研究者へ贈る「永瀬賞」

優れた若手研究者のサポートを目的として活動する「フロンティアサロン財団」を支援するもので、2011年に設立。世界を牽引し、人類の未来への貢献に繋がる研究に取り組む若手研究者に贈られる賞です。  
また、永瀬賞を受賞した先生から直接講義を受ける特別講義「サイエンスセミナー」も同時開催(2021年からはオンラインで実施)。最優秀賞受賞者には、賞金2,000万円が贈呈(2022年実績)されました。



2019年「永瀬賞最優秀賞」  
武部貴則先生セミナーの様子

2022年最優秀賞を受賞した  
沼田 圭二先生

永瀬賞 表彰歴		＜所属・肩書は受賞当時＞
第12回(2022年)	最優秀賞 沼田 圭二先生 特別賞 佐藤 荘先生	京都大学大学院 工学研究科 材料化学専攻 高分子材料化学講座 生体材料化学分野 教授 東京医科大学大学院 医学部総合研究科 教授
第11回(2021年)	最優秀賞 星野 歩子先生 特別賞 関谷 毅先生	東京工業大学 生命理工学院 准教授 大阪大学 大学院総長補佐 / 栄誉教授
第10回(2020年)	最優秀賞 三浦 恭子先生 特別賞 加藤 英明先生	熊本大学 大学院生命科学研究部 老化・健康長寿学講座 大学院先端機構 准教授 東京大学 大学院総合文化研究科 先端科学研究機構 准教授
第9回(2019年)	最優秀賞 武部 貴則先生 特別賞 林 悠先生	東京医科歯科大学 統合研究機構 教授、埼玉大学 特別教授、 シンシナティ小児病院 オルガノイドセンター 副センター長 筑波大学 国際統合腫瘍医学研究機構(NPVI HIS) 准教授/主任研究者
第8回(2018年)	最優秀賞 茂呂 和世先生 特別賞 沙川 貴大先生	理化学研究所 統合生命医学研究センター チームリーダー 東京大学 大学院 工学系研究科 物理工学専攻 准教授
第7回(2017年)	最優秀賞 竹内 昌治先生 特別賞 笹川 崇男先生	東京大学 生産技術研究所 教授 東京工業大学 科学技術創成研究院フロンティア材料研究所 准教授
第6回(2016年)	最優秀賞 伊丹 健一郎先生 特別賞 牛場 潤一先生	名古屋大学大学院 理学研究科 教授 慶應義塾大学 理工学部 准教授
第5回(2015年)	最優秀賞 柴田 直哉先生 特別賞 猪熊 泰英先生	東京大学大学院 工学系研究科 准教授 東京大学大学院 工学系研究科 講師
第4回(2014年)	最優秀賞 内田 健一先生 特別賞 水島 昇先生	東北大学 金属材料研究所 准教授 東京大学大学院 工学系研究科 教授
第3回(2013年)	最優秀賞 高橋 和利先生 特別賞 長谷川 祐司先生	京都大学 IPS細胞研究所 講師 ウーイン工科大学 准教授
第2回(2012年)	最優秀賞 水落 憲和先生	大阪大学 准教授
第1回(2011年)	最優秀賞 上田 泰己先生 特別賞 中村 龍平先生	理化学研究所 チームリーダー 東京大学大学院 工学系研究科 助教

## 大学学部研究会

学びたい内容で大学・学部を選ぶため、日本を代表する大学の超一流教授陣が集まり、人生をかけて取り組む研究について講演していただく「大学学部研究会」を開催。各分野の最先端で活躍されている先生方の講義は、生徒たちに「自分が将来取り組みたいことは何か?」という夢を見つけ、人生をかけて取り組む志=ライフミッションへと昇華させるきっかけとなっています。中学生に限らず、保護者、および学校の先生方も対象に無料招待しています。  
※2020年～2023年はオンライン実施



## ナガセ×東京大学 「革新的学びの創造学」未来社会協創基金

国連のSDGsで謳われている「誰一人取り残さない」多様性を尊重し皆が活躍できる社会、インクルーシブな社会の実現のためにナガセと東京大学は、2019年に東京大学内に「ナガセ「革新的学びの創造学」寄附講座」を創設。革新的な学びの創造のための具体的な教育研究を進めています。



## 海外大学留学支援制度

日本の高校生に向けて、一人あたり4年間総額38万ドル(約5,100万円\*、給付金は返済不要)を各学年毎年最大10名に給付する「海外大学留学支援制度」を2013年に創設。全国統一高校生テストの決勝大会で優秀な成績を収めるなど、一定の条件を満たした生徒を対象としています。各国から傑出した人材が集まる“知の最高峰”、ハーバード大学、プリンストン大学、イエール大学から始まり、2018年からはスタンフォード大学、マサチューセッツ工科大学、カリフォルニア工科大学、2020年からはケンブリッジ大学、オックスフォード大学(総額26万ポンド、約4,300万円\*)を加え留学を支援します。世界に羽ばたく日本のスーパーエリートが生まれる機会を提供しています。  
※2023年5月10日現在の為替レートに基づいています。ハーバード大学 ケンブリッジ大学 スタンフォード大学

## 中国・清華大学短期留学

東進ハイスクールおよび東進衛星予備校に通う高2生・高1生を対象に、2007年から中国の大学でトップクラスの清華大学への短期留学を実施しています。応募者約3,000名の中から、1次・2次審査を経て、高い志を持った30名を選抜し、8日間の短期留学に無料招待しています。大学で充実した講義を受けるだけでなく、企業訪問や現地の学生とグループディスカッションなどを行い、日本とは異なる物の見方を学びます。日本を飛び出して「世界」を知ることによって、これからの世代にとってますます重要となるグローバルな視点を育むことを目的としています。



ディスカッションでは、生き生きと意見が飛び交います。  
※2020年～2023年は実施を見送りました。

## 東進オンライン学校

東進オンライン学校(小学部/中学部)は、「いつでもどこでもだれにでも最新にして最高の教育を提供する」という、東進の「教育の機会均等」の理念にもとづき、2020年にスタートしました。30年に渡り培ってきたディスティンク・エデュケーションの技術やノウハウを活用して、全国の小学生・中学生の学びを支える取り組みです。東大現役合格実績No.1の東進と、中学受験教材シェアNo.1の四谷大塚がタッグを組んで、英語・数学・算数・国語・理科・社会の講座を提供しています。



生徒のつまずきポイントやその攻略法を熟知し、多くの生徒の学力を伸ばしてきたプロフェッショナルの“業”して分りやすくやれる力が“授業が自宅で受講できます”。

## 東進グローバルイングリッシュキャンプ

今後の世界をリードする世界ランキング20位以内のトップレベル大学の学生をコーチとして、英語で物事を考え発信力を高める「校内留学」体験です。豊かな知性とリーダーとしての資質を備えた素晴らしいコーチのもと、5日間、All Englishの環境でディスカッションやプレゼンテーションに挑戦。英語による表現力・発信力を飛躍的に高めると同時に、人間的にも大きく成長するきっかけとなります。  
※2021年・2022年はイングリッシュワークショップとして オンラインで3日間の家(ウチ)留学でプログラムを実施。



ディスカッションやグループワークを実施する英語漬けの5日間

## 大学生・大学院生起業支援

独立自尊の精神と熱きフロンティアスピリットを持った学生に向けた「大学生・大学院生起業支援」です。全国の大学生・大学院生を対象に、1件当たり最大1億円、総額3億円を起業支援基金として準備。起業プランの将来性や内容を厳正に審査し、プレゼンテーション力や本人の熱意や想いを踏まえた上で、自ら進んで努力する未来のリーダーを支援しています。

## 日本国内初、世界最高レベルの施設「AQIT」

「AQIT(アキット)」は、日本国内初のオリンピック仕様公認競技用プールとして、2016年5月に完成。スイマーが泳ぎ切った直後にその場で自分の泳ぎを確認することができる最新の泳法解析装置を備えた世界最高レベルの施設です。



■AQIT仕様 長さ/50.00m 幅/20.51m 水深/3m コース/8レーン レーン幅/2.5m 映像泳法解析カメラ/37台 総工費/50億円